



【学校教育目標】

夢と目標をもち、主体的に取り組む児童の育成
～かしこく やさしく たくましく～



平成29年度 ご挨拶

校舎前のプランターのパンジーが、色とりどりの花を咲かせ、暖かい春の風に揺れています。豊松小学校は今年度入学式がなく、少し寂しい平成29年度のスタートとなりました。しかし、全校児童32名、そして教職員ともに新たな気持ちで頑張ろうと張り切っています。

昨年度、校舎の一部やグラウンドの改修工事を終え、教育環境もより安心安全なものになりました。その環境の中で子ども達には、自分の目標を決め、その達成に向けて自分から頑張ろうとする意欲が見られます。良い伝統として引き継がれている立腰姿勢や気持ちのよい挨拶は、今後も取り組んで参ります。

また、児童数が減る傾向であることを真摯に受けとめ、学校では少人数・複式教育の研究に力を入れ、授業改善に努め、児童に確かな学力を付けていきます。少人数・複式の特色（良いところ）を「自ら主体的に学ぶ力」につなげていきたいと考えます。

「小さくても ☆きらり☆と光る 豊松小学校」が今年のスローガンです。子ども達にも始業式で「みんなにはもっと伸びていける可能性がある。目標を決め、その達成に向けて自分から頑張る、自分のきらり（良いところ）を見つけよう」と話しました。

子ども達が夢や目標をもち、その実現に向けて主体的に学び続け、友達とも協働し創意工夫しながら挑戦する過程を通して、これからの社会で活躍するための資質・能力を身に付けるように、職員一丸となって取り組んで参ります。また、地域の特性を活かした活動を積極的に仕組み、豊松の良さを知り、豊松を愛する心（郷土愛）を育てていきます。

保護者の皆様や地域の皆様に信頼され、期待に応える学校づくりに誠心誠意努力してまいりますので、今後とも豊松小学校へのご支援・ご協力をいただきますようお願い致します。



神石高原町立豊松小学校 校長 住田 葉子